

全日本私塾教育ネットワーク

# 私塾ネット広報

<http://www.shijuku.net>



本部事務局

〒173-0005

東京都板橋区仲宿29-6 ナカジュク内

TEL 03-3963-5572 FAX 03-3963-2529

理事長 山口 恒弘

No.5

平成15年7月15日  
発行

私塾ネットワーク広報部

〒116-0001

荒川区町屋4-2-17

TEL 03-3895-5811

FAX 03-3895-5825

# 私塾ネット全国塾長・職員 研修大会

私塾と私学の教育改革：おおいに語ろう！

【日 時】平成15年4月27日午後2時より

【会 場】王子「北とぴあ」

### 基調講演『塾長、職員が元気になる話』

四国「湯口塾」塾長 湯口兼司先生

先生が生徒たちの前で、「どんな顔をして授業するんだろうか」ということがまず大切であると思います。そして、先生は元気でなければならない。なつかつ子どもたちを笑顔で迎えてやらなければいけない。そういうところから授業が始まるのだと思います。授業が始まる前もそうですし、生徒を迎えるために先生が外に出て待っているとき、早く来ている子どもたちとコミュニケーションをとり部活のこととか、学校のこととかその生徒がどんな子であるかを知っておくことが大切だと思います。もしくは生徒が先生を信頼して授業を受けてくれるのかどうか。クラス全体を見渡し、一人一人の生徒の表情を観察しておくことも大切であると思います。今からレジュメの紙、『塾長、職員が元気になる話』に添ってお話ししたいと思います。その1番始め「職員の方々へ」の1)です。「あなたが○○塾です」と書かれていると思います。私が「湯口塾」なんですが、生徒にとっては、実際に教壇に立って教えている先生が「湯口塾」なのです。その先生の授業などが良いか悪いかによって、2年後・3年後の塾の状態、伸びて発展していくのか、もしくはかげ

りが出てくるのかが決まつてくるのではないかと考えています。今年の募集の良し悪しは社会状況、たとえば子どもの数自体が減っているとか、近くに大手塾が進出したとか、そのような要因の影響もあるかと思いますが、それ以上に3年前・5年前にあなたの塾が信頼されていたのか？講師の評判は？そういうことが問われているのではないでしょうか。ですから今は私が「湯口塾」ではなく、直接生徒たちと接している講師たちが湯口塾なのです。10年くらい前までは、訪ねてくる卒塾生の全員が私を訪ねてきてくれたんです。でも今は違うんです。AくんはB先生を、CくんはD先生を訪ねてきてくれているんです。生徒と講師のコミュニケーションがそれだけ取れている証しであると思っています。私以外で生徒が訪ねてくれる講師が湯口塾にはたくさんいます。その講師たちがいてくれるから、湯口塾はこの25年間売上を落とすことなく、やってこられたのではないかと思っています。教室を増やして売上を伸ばしてきたわけではありません。10年前から1教室しか増えていないんです。子どもの数はどんどん減ってきていて、そういう中で前年比102%、103%とかという世界ですけど、増えてきています。地域シェアが高くなつたということです。湯口塾は香川県の西の端の地域、1市7町で展開しています。13中学校があるんですが、全中学生で約4400人その内960人ぐらいが私の塾に通塾してくれていま



平成15年(2003)4月27日(日)、午後2時より「私塾ネット 全国塾長・職員研修大会」が開催された。ご挨拶をされる私塾ネット理事長の山口恭弘。



全国研修大会で基調講演される湯口兼司氏。湯口塾は開塾以来20年、毎年生徒が増え続けているという。地域密着型で、香川県西部地区では、地元中学の占有率は20%~50%と圧倒的なシェアを誇り、進学実績も群を抜いている。

す。以前は6000人~6500人くらいはいたんですけどね。5000人くらいのときは1040人ほど通塾していたと思います。20%強ですね。それが今は21%強になっているということです。少子化の影響はありますけどこれまでシェアの高さでなんとかカバーしてきました。

話が前に戻りますが、「笑顔で教室に入る」ということですね。で、「2) あなた自身が輝いているか?」ということですね。教室で先生が暗い顔していたり、生徒も集まらないし、給料も上がらないというような気持ちでいたのでは、生徒に影響してきますので、好ましくないわけです。自分の中に「夢」というものがあると思うんです。「海外旅行に行きたい」、「皆が訪ねてくれるような塾の先生になりたい」、「家を建てたい」、「車を買いたい」等等。夢を持っている先生は生き生きしているのではないかと思うか。「3) 笑顔、はきはき、清潔感」も関係しているわけです。生徒が騒がしいからと「怒った顔」で接するのではなくて、「はきはき」しているかどうか、自分の説明が「わかりやすい」かどうか。香川県は県立高校が強い地域なんですが、高校の先生方がたくさん出席しているある会で講演をしたことがあるんです。そのときに質問が色々あったのですが、質問の内容がよくわからないんです。「もっとストレートに話をしてよ」という感じですね。自分の話していることが、皆に伝わっているのかどうか。これをきちんと確認することが大切だと思うんです。生徒に聞けばいいんです。『今日の授業どうだった?』と。理解して、わかって帰ってもらう。生徒に満足感を与えて帰すということが大切。私の塾は田舎ですから月謝は比較的安

いんです。小学生は月4回で4000円、中学生英語月8回各90分で9000円。英語と数学(2時間)週3回で14000円くらい。1回あたりの授業は1200円程度の設定です。私は25年指導していますが、今日はいい授業だったなと思えるのは、年に2回か3回ですね。そのときは1200円の価値があったかなと。まだまだです。

「4) 信頼されている先生とそうでない先生では同じことを言っても受け取り方が違う。」嫌な先生から注意されると、「叱られている」と感じる。だから信頼されることが大切。そのためにはどうするか。「自分の味方を作る」ということ。30人のうち、主力の10人が「○○先生、なかなかいい」と言ってくれたら、これはもう安泰。注意するにしても皆の前では駄目。個別に呼んで叱るのではなく「アドバイス」する。「挨拶は元気よくしないと社会に出てから困るでえー」とか。90分とか、2時間の授業を通じて、どれだけ自分の味方をつくっていけるか、そこにかかっている。「5) 年齢、経験に応じた塾内での働きが出来ているか?」ですが、神奈川ステップの瀧井先生の話の中にはありました。塾に入って1年目~20年目、それぞれの経験に応じて評価され、給料も違っていると思うんです。年齢経験に応じた塾内の働きが出来ているかということは、経営者側から考えますと、塾に入って3年たてば、一通りの授業は出来る。それにプラスして生徒や父兄に、または会社にどんな付加価値を与えられるかが大切だと思います。人数の多いクラス、難しいクラスを担当したときに、先生方の力の差が出る。今日ここに来ている湯口塾の先生はオールマイティー型の先生なん



湯口兼司氏の基調講演「私塾と私学の教育革命」を聞きいる私塾ネットの若い塾長と職員たち。現在11教場で生徒数1950人を抱える湯口塾代表・湯口氏のユーモアを交えたお話をにはベテラン塾長も納得するすばらしい研修大会であった。



私塾ネット全国研修大会第一部後半は「学力は低下させない」「明日から役立つ指導研究法」のテーマでのグループディスカッション。そのルールを説明される鈴木正之研修部長。

です。11教室ほどありますが、各教室担当の講師というのはいないんです。湯口塾全体でそれぞれの教室に出向いて授業しているんです。専任教師40人の中から、その教室にあった先生を送り込むんです。問題が生じている教室にはそれに対応できる講師を即座に配置します。どこの教室に、いつ行っても授業の出来る先生、それがオールマイティー型の先生です。水曜と土曜に指定休といって、一ヶ月に1回とか、講師に休みを取ってもらっています。なかなか週休2日には出来ないので。初めての教室に行っても、そうした講師は他の先生と替わって授業ができるんです。適材適所を考えて配置しているつもりです。

「6) 自分が指導している教科を通じて生徒に良い影響を与えていたか?」ですが、私たちは学習塾の先生ですから、英語や数学などの教科を出来るようにすること、好きにすること、これが一番の基本であると思います。しかし授業テクニックだけではなく、人間として大事なこと、将来社会に出て役立ちそうなこととかを、少しずつ話すことによって、向上心というか、やる気を引き出す。高校受験のときはこの近辺の戦いで済むが、大学受験となれば全国レベルでの戦いになる。全国レベルの戦いというのは、一つの高校で50人も、100人も東大合格者を出している高校の生徒たちと、君たちのように飛んだり跳ねたりしている者と、同じところで勝負せなかんということだぞと。普通では勝てんぞ。しかし君たちの方がゆとりは一杯ある。向こうは毎日2時間も3時間も勉強してきた子たちや。お前たちは1日20分か、30分しかしていない。それが本気で勉強したとしたら、可能性としてはあるのと違うか?と。意識を

高揚させたり、将来に向かっての目標を決めてもらわないといかんかなと。

「7) 目標作りのためのアドバイスは出来ているか? 生徒のやる気」について。中1、中2の子をつかまえて、行きたい高校ある?と聞いてもわからない生徒もたくさんいます。工業か、商業か、普通科か、どこに行きたいのかもわからない。で、どんな話をするか。100人いる中学校だったら、「5番までにいると高松高校でも、丸亀高校でも、どこでもいいぞ」と話すんです。東大に10人以上合格している各地区のトップ高です。「25番以内にいると、1番上の丸亀高校だけはいけないけど、それ以外の高校にはいいぞ」と。だんだん下がっていって、「ここしかないぞ」となるわけです。上位にいると選べる高校がたくさんあるけど下になればなるほど選べる高校が少なくなるよ。「そこでどうなんや」となるわけです。「頑張ればワンランク上の高校にいいぞ」と励ますわけです。ここで、「湯口塾組織図」をご覧ください。入って2年か、3年経過したら、塾の先生として教えるということに関しては出来るようになります。で、それ以降はそれ以外に何が出来るか。42人の先生のスケジュールを作る、保護者会を企画したりデータを作ったり、湯口塾の新聞を作るための担当者、英検をするための担当者、東進衛星を運営するための担当者、中学校の入退管理等、NPO全国教育ボランティアの会主催のイベントの企画担当とか、たくさんあります。これは教えることプラスアルファの仕事が書いてあるんです。ですからこれ以外の仕事、英語とか数学とか、自分の指導している教科はもちろん持っているわけです。夏期講習テキスト作り



平成15年(2003)午後6時より私塾ネット全国研修大会に引き続き私立学校の先生、各塾団体の代表、教育関連企業の担当者など約120名が出席して懇親会が開催された。壇上は私立学校の先生方を代表してご挨拶をされる寶吉幹夫先生。



懇親会には、首都圏の私塾団体代表者多数が参加された。壇上左より「juku21世紀の会」代表・古本真成氏、「学校教育支援調査会」幹事長・松田邦道氏、「社団法人かながわ民間教育協会」総務会長・西崎正博氏、「千葉学習協同組合」理事長・柳田晋次氏、「東京私塾協同組合」理事長・岡田保雄氏、「塾全協」理事長・菅原明之氏と事務局次長・奥松研亮氏、事業部長・中村基和氏。「私塾協議会」副会長・寺田悦子氏。中央は私塾団体を代表してご挨拶をする全国学習塾協同組合・理事長・森 貞孝氏。

を5月中旬から作っていって、7月の末には一冊の本にします。全部自分のところで作ります。今年教科書が変わりましたね。たとえば、英語の場合ですが、香川県の場合は中学校英語の教科書1種類なんです。全県同じなんです。そこから98%くらい出ますので教科書を分析して対策問題も自塾で作成します。

昨年、小学生の集まりが悪かったんです。小学部は算数・国語・英語あるのですが、湯口塾のスケジュールでやっていたんです。ところが、塾には通いたいけど時間など合わなくて、なかなか塾にいけないという話を父兄から聞いていたんです。田舎なので、送迎はほとんど車なんです。兄弟姉妹がいると曜日や時間が違って送迎も大変なことになるわけです。中学校はやむをえないけど、小学校はなんとか考えようと。今年の2月の15日くらいに小学部の方の担当者に検討してもらって、3月の初めにフレックス(1週3日のうち生徒が好きな曜日と時間を選べる)案が出てきたわけです。それを手直しして、「体験授業」という形で募集(チラシは45000枚自分のところで印刷、DMも3000通ぐらい出しました)、1週間で115名新規の生徒が集まりました。でも、それだけで集まったわけではないんですね。去年は「全国教育ボランティアの会」の活動をして、地元の教育委員会関係にチラシを配布していただいて、イベントを4回やりました。そのときに参加してくれた子たちがかなりのウエートで入塾してくれています。イベントのときは「湯口塾」の宣伝は一切しておりません。しかし、皆さ

ん実質的には「湯口塾」であるということはわかっているわけです。そのようなことも大きかったのではないかと思っています。普段の「湯口塾」の評判というものが大きいに影響していると思います。「今、湯口塾は何を考えどんな塾になろうとしているのか」ということを地域の人たちに知つてもらうための広報活動が大切だと考えます。チラシやDMだけでは集まらないと思います。「湯口塾」は比較的できる生徒の集まる塾であるという評判があるようなんですが、そのようなイメージになるようにする。レジュメの「強い塾」の2番目に「熱心、面倒見が良い」とあります。今伸びている30代の塾長が経営している塾、やはり熱心です。元気があるし、面倒見がいい。日曜日でも朝から生徒を呼んで補習しています。正規の授業が9時半であっても、出来ていない子は、親の了解をもらって遅くまで残してやらせる。そこまで徹底してやっておくと、「あそこの塾は面倒見がいいし、熱心に指導してくれる」という評判が立つ。広島のある先生のところでは、中間テストや期末試験のときは朝5時ぐらいから塾に来させて、その日の勉強をさせて、学校に送り出すということをなさっていたわけですね。塾によっていろいろ特徴はあるとは思いますが、今伸びている塾というのは何かプラスアルファがあるように思います。私どものところには地域の20%の中学生が来てくれていますから、データがあります。県下一斎の診断テストがあるのですが、高校の合格判定表が湯口塾では作れます。各中学校の順位、

何点取ったら何番になったというデータがメインの9校については毎回出ます。250点満点で、170点取ったとしますと、A中学では25番であるが、B中学では35番であるとか。その学年のレベルと学校のレベルがわかります。それが「湯口塾」に来ないと、わからない。うちのデータが出ると、学校の先生方もそのデータをクラスの委員長なんかに届けさせて、コピーして使っているんです。データに関しては20年前から積み重ねてきています。入塾理由の1が「友達が行っている」、2が「データが信頼できる」なんです。そういう部分もあるんです。

「授業中」の「1）あなたと生徒の間に引き合うロープはあるか？」ですが、「生徒が私の説明を理解してくれているだろうか？」「この子、ちょっと疲れているなー、大丈夫かな」というように一人一人とクラス全体が見えているかどうかということなんです。「説明したこと」に対して、生徒が理解しているかどうかをチェックする為にどんどん質問を生徒に投げかける。たくさん生徒にあてることによって授業の活気も生まれます。

「8）トップレベルの生徒から下位レベルの生徒まで満足する授業が出来ているか？」を例にして、(2)から(8)まで説明します。湯口塾では毎回英単語テストをして、出来る子は後ろ、出来ていない子は前というように席替えをしています。全部で10~15問の単語のテストです。努力さえしてくれたら、単語ですから誰でも出来る。最初1年生のときに話をします。10個の単語を覚えるのに10分かかる子、20分かかる子、40分かかる子、覚える能力の差はあります。でも40分かかる子が40分勉強してくれたら満点取れる。40分かかっていた生徒がたくさん単語を覚えたときには10分とか20分で覚えられるようになるのが英語の単語ですから。そういうことを、1年生の最初にしっかりと話しておきます。ペーパーテストで英語の試験をしたら、賢い子が良い点を取ります。単語を覚えるのは子ども本人の努力。「湯口塾」に来ても、単語を覚えてくれなければどうにもならない。単語のテストは毎回実施、毎回席替えします。夏と春に忘れないように100問の英単語テストをします。3分の1以上の生徒は90点以上取ります。80点以下は不合格ですから、再テストとなります。それでも不合格の場合は、間違えた単語を30回ずつ書いてもらう。これが「湯口塾」を続ける唯一の条件なんです。書

いてこない子は勉強する意志がないということだから申し訳ないけど退塾していただく。（もちろん担当の講師から書いてくるように励ましの電話はいれます。）基本的にはそういう姿勢です。単語を覚えるのはあなたの方の仕事であると。そのかわりふだん宿題は出しません。

「強い塾とは」（特に塾長先生に）の方に行きます。3番目に「地域で一番」とありますが、狭い地域でもいいんです。あそこは「英語が出来るようになる」、「熱心にしてくれる」でいいと思います。「熱心さ」が1番でも。それがだんだんと広がっていけば、大きな町、たとえば高瀬町の中で、「湯口塾」が1番となるわけです。あるいは、3つの町の中では「湯口塾」が1番となるかもしれないわけです。「数学の先生がすごいらしい」でもいいわけです。評判を作ることが大切。

公立高校の先生ですと、生徒が自分の授業を理解出来るだけの予習をしてきているか、復習をきちんとしているかどうかということは、生徒たちの問題ですよという立場の先生が多いと思います。塾の場合は、「重要な部分を反復して教えてくれる」とか、「解けるまで徹底して教えてくれる」とか、その辺の踏み込み方が大切です。授業が終わったら、湯口塾の講師は外に出て行って、子どもたちが事故にあったりしないように、交通指導をしています。混み合う車の交通整理をすることもあります。生徒の前に先生が出て危険な場合は子どもたちの手を握って誘導し、

「はい、今通って」と。自分が橋になって、子どもたちを守るという姿勢で送り出しています。送迎にきている親御さんたちは皆見ているはずです。学習塾であるということと先生がここまで子供たちのことを気をつけてみていってくれる、こうしたことも大切なではないでしょうか。

8番目の「生徒、保護者のニーズに応えられているか？」ですが、ふだんから子どもたちの声を聞く、親御さんたちとも話ををしておいて、どういう塾だったら来てくれるのか。今、四国でも生徒が集まりにくくなっています。生徒が減ってきてから、厳しくなっています。これまで新中一生が30人入塾していた。ところが今の小6の人数から考えると厳しい。それなら15人でもいい。確実に15人は来てくれる塾にしよう。それがまず第1段階の目標になるわけです。うまくいけば20人集まってくれるかなというのが第2

段階です。実際来たのが18人だった。そうしたときに、30人を目標にしておいての18人だったら、これはショック。ところが15人の設定ならプラス3や、という気持ちになれる。もともと0ではない。100人だったのが30人になっている塾がいっぱいあります。30人しかいないのかという考え方をするからいけない、この景気の悪い中で30人も来てくれている、この30人があなたの塾に来て本当に良かったなと思ってもらいたら、それが35人なり、40人になる。そういう気持ちでなかつたら、今の時代はやっていけない。自分が謙虚な気持ちになり、そこからスタートすれば、まだまだやれるわけです。新規の塾が出来ても当初は20人、30人集めているわけですから。まだまだ潜在的な入塾希望者はたくさんいます。都市部に行ったら、大手が立派な建物で、新卒の若い先生もたくさんいて、綺麗な立派なチラシ入れて、そういうことはあると思います。でもそんなのに負けないで下さい。そのとき、外から自塾を見てください。この塾は暖かい雰囲気があるなとか、塾の前に花がたくさんあって良い雰囲気があるなーとか、大手には出来ない塾作りをしてください。逆に古びた広告が貼ってあったりしていないでしょうか?時々は外から見た自塾をチェックしてみてください。そして明るく清潔感のある塾にしてください。チラシを打つにしても手書きのものなど、色々と試されてやってみるとか。大手は建物は綺麗だし、掃除も行き届いているが逆に冷たい感じもします。個人塾はもっと暖かいものを出せるはず。そこからがスタートになるのではないかでしょうか。最初時間をかけすぎて、十分な話が出来ませんでした。今日はどうもありがとうございました。

**仲野先生** 湯口先生、ありがとうございました。それでは質疑応答の方に移りたいと思いますが、何かご質問のある方いらっしゃいましたら、挙手をお願いします。

**渡邊先生** 父兄からでも生徒からでもかまわないのですが、具体的なクレームがあれば、教えてください。

**湯口先生** たくさんあります。たとえば父兄から「授業中がうるさい」とか、電話があったとします。一つの教室を英語の先生が二人、数学の先生が一人、基本的には3人でみています。クレームがあった場合、その子はどんな子か確認、騒がしいの中身ですが、元

気があって、一生懸命やって、活発な意味で騒がしいのか、自分がしゃべっていて、他の子がうるさいのが気になるのか、判断していただき、次の授業のときに押さえ気味の授業をして、様子を見てもらいます。他の先生も見ていただいて、対応するようにしています。

**〇〇先生** 3年もすれば授業できるようになることですが、その後なんですが、私も年を重ねてきて、若い先生にパワーで負けるところがあるかなと。その辺も含めて教えていただけたらと思います。

**湯口先生** 授業というのは今日は何をするのか、というところから出発するわけです。さあ一、これから授業するぞという姿勢にもつていかなければならないわけです。今日は楽勝、簡単だからとか、今日は大事なところだからとか、言うようにしています。15分集中して、そしたら5分休憩するから、がんばろうなとか。それから授業の始めに「お願ひします」とか、終わりに「ありがとうございました」とか、「さようなら」、「お疲れ様」とか、大手の佐鳴さんかな、やっているというわけで、去年からうちもそうです。終わり方は大事だと思います。最後の10分、15分は大事だと思います。せっかくいい授業をしていても、最後のところでだらけてしまっては、何にもなりません。

**田中先生(鎌ヶ谷)** 湯口先生の熱い血というものが、塾をずっと続けさせている原動力になっていると思います。人数が増えるとどうしても血が薄まってくると思うのですが、お話を伺っておりますと、ますます血が濃くなっているように感じられるのですが、その秘訣を教えていただきたい。どうやって組織作りをし、どうやってスタッフを育ててきたのか、その辺のところを教えていただきたい。

**湯口先生** 塾始めて25年になるんですが、そのうち19年という先生が2人、16年が5、6人はいるかな?最初に入られた4、5人の先生方は物凄く熱心な先生で、英語の場合は私の授業を模倣するところから、始まったのかなと。たとえば中学英語の進めかたでいえば中1から中3までの文法は関係代名詞を除けば5種類しかありません。『進行形とはbe動詞+動詞ingで意味は～している、していた』『不定詞とはto+動詞の原形で①こと、②べき、③ために、④～して～だ』、『動名詞とは動詞にingをつけて意味は～するこ

と』、『受動態とはbe動詞+動詞の過去分詞+by目的格、意味は～される、られる、～された、られた』、『現在完了とは have (has) +動詞の過去分詞で(完了)～してしまった、したところだ(経験)～したことがある(継続)ずっと～している』とりあえずこれだけは九九のように暗唱してもらわなければなりません。でも早口で言えば全てを30秒で言えます。全員が暗唱できるまで何度も繰返します。後は問題を解かせながら講師がついてやり一人一人にじっくり定着をさせます。徹底することと反復が大切ですね。それと何故これらが必要なのはその授業の最初にしっかりと説明しますが。数学は私が教えていないので、なんともいえないんですけど、ボソボソといいながら、生徒に問題を解かせるのが上手な先生。最初は地元の先生の授業を見学させます。どの先生の授業を受けても基本は一緒。英語の場合は統一しています。授業のスタイルも最初に単語のテストをして、席替えをして、そこから授業に入つて、文法事項は教科書関係なくて、説明して、次の時間解かしていくという形。私はやっていることについては自信はもっていますが、普段はひ弱な、臆病な人間んですよ。臆病者だから、将来こうなったらいかんなど、危機感として自分の中にずっとあり続けた。その危機感というものが、こうなったらいかんから、こうしておこう、そういうことが25年間ずっと続いていった結果が、今の「湯口塾」になったのではないかなと思っています。決して、大胆な冒険好きの自信家ではないということは理解していただきたいな。

**○○先生(女の先生)** 「ふだん宿題は出さない」というのは、どういうポリシーですか?それが1点です。もう1点は「男の子と女の子の叱り方が違う」、男の子はバシッと、将来仕事が大変だと。女の子はポンとやる。これは湯口先生だけの印象なんですか、それとも40人のいらっしゃる先生方全員の方向性なんですか?

**湯口先生** 宿題は出した方がいいと思います。宿題を出すと、宿題を全部確認しなければいけませんので、うちの先生が大変かなと思っています。どうしても出来ない子、学習が遅れている子に対しては宿題を出す場合もあります。ポリシーがあってというわけではありませんが、うちの先生方は授業の準備をするということに時間をかけていますので、

手が回らないというのが、正直なところだと思います。もう一つの「男の子と女の子の扱い」というのは、話の中の一つの例でして、そんなに真剣に考えてやっていることではありません。そんな空気というか、雰囲気ではやっていますが。

**小松氏(月刊『私塾界』)** どんなにいい塾でも、どんなに本人が頑張っても、どんなに努力しても、絶対第一希望に落ちてしまう子がいると思うのです。そのときに塾としてどんな精神的なフォローを?

**湯口先生** 香川の場合は、県立高校中心ですから、合格か不合格かで大きな違いになります。香川県の平均の倍率というのは1、26倍、126人受けて100人が受かるということですね。26人が不合格。大学入試みたいに10人受けて8人不合格になるんだったら、気にならないでしょうが、今年370人ぐらい受験して、不合格は7名なんです。涙は見せるし、ショックは残ると思います。不合格の生徒のところには先生が行きますし、不合格だったから駄目だということはないんです。滑ってそこからがスタートなんです。私立高校に行つたけど、3年後いい大学に受かったという話はたくさん見てきていますので、落ち付かせて、そういった話をあげます。子どもによっては、丸亀高校滑ったら、受かった子たちと高等部で授業するかということまで話して、12人受かった子、1人滑った子、一緒にクラスに入れて、それから3年間頑張らせたということも何回もあります。結果的には現役で国立に受かって、良かったなあと。

**仲野先生** どうもありがとうございました。この後、分科会の方は研修部の鈴木の方からさせていただきます。

**湯口先生** 長いことありがとうございました。

**鈴木先生** この後は分科会になります。10分少々休憩とさせていただき、3時40分から開始予定です。場所は同じ場所ですので、机や椅子などの配置換えをしたいと思います。A~Fと6つのグループに設営したいと思います。お荷物をお持ちの上、移動をお願いします。分科会第1Rは「教材カリキュラムについて」です。指導内容や指導教材、学校の進度と学習塾の指導についてです。これはあくまでも道しるべであって、そのままやる必要はありません。

3時47分より各テーブルで分科会が始まる。分科会の報告書は各リーダーから出され

ておりますので、そのまま掲載します。

**【広報部より】**

英語授業の具体例は早口で聞き取りにくかったのですが、それ以外は力強い声で、自信のみなぎったお話でした。ただ県立中心の進学指導というものが東京と著しく異なるところで、その点では？？？というところが多々ありました。しかし、これは致し方ないことだと思います。都立トップ校でも偏差値は65前後、東大合格者は都立トップの西でも17人。対して私立上位校は偏差値70以上で、東大合格者は開成の164人を筆頭に、麻布93、桜蔭74、巣鴨63、駒場東邦62、海城53と続きます。国立も筑波大付属駒場79、学芸大付属87と頑張っています（数字は2002年の実績）。したがって塾での上位層は学校の勉強を相手にしていたのでは、私立上位校にはとても合格できず、特別の学習が必要になります。高一レベルの数学力、英語力、国語力が要求されます。私立中堅中の生徒相手でも、都立志望の生徒と一緒に授業は無理です。進度が違いすぎるのです。

女の先生の質問、「宿題はどうして出さないのでですか」に対する回答。「ポリシーがない」と言われましたが、湯口先生のお話からすれば、「ふだんの授業の復習をしっかりとやってもらうために宿題は出しません」ということだと思います。毎回英単語のテストがあるのでですから、宿題をやっている時間はない。はっきり言って欲しかった。

また「男女で叱り方を変える」ということについても、「女の子は守らなければならない」、「男は鍛えなければならない」と、はっきり言って欲しかった。遠慮は無用。

中1や中2ではいまだ進学先定まらず？中3になってから間に合うんですか？中1あっての中2、中2あっての中3。それまでにどんな勉強をしてきたのか、どんな力を蓄えてきたのか、それによって全然違ってくると思います。湯口先生は中1生に将来の指針をしっかりと示されています。「中1のときから将来の展望についてしっかり話しています」と発言されるべきです。

しかし、40人の専任講師を抱えていらっしゃる。羨ましい。

**分科会報告**

**[分科会質問事項一覧]**

**1R 教材＆カリキュラム 【指導内容・使用教材・学校の進度と学習塾の指導】**

1. 2002年度の指導内容は、旧学習指導要領ですか、新学習指導要領ですか?  
 \*その理由は何ですか?  
 \*実際にやってみてどうでしたか?  
 \*今年度はどうすることにしましたか?  
 指導上工夫することはありますか?
2. 2002年度の教材はどのようなものを使いましたか？難易度はどうでしたか?  
 \*その理由は何ですか?  
 \*実際にやってみてどうでしたか?  
 \*今年度はどうすることにしましたか?  
 指導上工夫することはありますか?
3. 生徒や学校に対する配慮はどうすべきであるとお考えですか?  
 \*生徒の希望する内容をどれだけ考慮すべきとお考えですか?  
 \*私立中高生の指導は、学校と連携するべきですか？どの様に連携することが望ましいですか?  
 \*公立中高生の指導は、学校の進度や授業内容をどれだけ考慮すべきとお考えですか?

**2R 指導法I 【前年度の生徒の変化と今年度以降の指導法】**

1. 新学習指導要領、絶対評価導入により、変化したことは何ですか?  
 \*生徒の知識、学力、意欲、態度等はどのように変化しましたか?  
 \*今後の改善点は何ですか?
2. 新学習指導要領外の指導は？  
 \*これだけは指導すべきである単元や内容は何ですか?  
 \*それらの内容を具体的にどの様に指導しますか?

**3R 指導法II 【指導上の工夫とオリジナル指導術】**

**A高校受験数学（矢澤由雅）**

- ①公式の指導はどの様にしていますか？  
公式をどの様に扱っていますか？
- ②関数を指導する上で注意していること、工夫していることは何ですか？

**B大学受験数学（桂馬辰尚）**

- ①大学受験を考えている生徒をどのように指導していますか？
- ②大手予備校を考えている生徒への対応はどうしていますか？

**C個別指導数学（升本修平）**

- ①理解度の高い生徒は学年の枠を越えて指導していますか？
- ②依頼心の強い生徒にはどのように対処していますか？
- ③家庭学習の指導とその確認をどのようにしていますか？

**D高校受験英語（D1 山本かつい）**

(D2 安藤 光)

- ①英単語の学習でどんな工夫をしていますか？
- ②長文はどの様に指導していますか？
- ③発音の指導はどの様にしていますか？

**E大学受験英語（監物一男）**

- ①大学受験を考えている生徒をどのように指導していますか？
- ②大手予備校を考えている生徒への対応はどうしていますか？

**F個別指導英語（小野田光伸）**

- ①英検対策を行っている場合リスニングはどのように行っていますか？
- ②理解度の高い生徒は学年の枠を越えて指導していますか？
- ③依頼心の強い生徒にはどのように対処していますか？
- ④家庭学習の指導とその確認をどのようにしていますか？

**G高校大学受験国語（渡辺 浩）**

- ①文法はどの様に指導していますか？
- ②公立高校対策はどの様にしていますか？
- ③韻文の対応はどのようにしていますか？
- ④漢字はどのようにやらせていますか？

**H高校受験理科（島崎英明）**

- ①元素記号等の指導はどの様にしていますか？
- ②実験、観察のやり方はどのように指導していますか？
- ③公式の指導はどの様にしていますか？  
公式をどの様に扱っていますか？

**I高校受験社会（竹内康信）**

- ①中学3年生に地理と歴史は、いつどのように指導していますか？
- ②時事問題を授業に取り入れていますか？

**J中学受験算数（大住明敬）**

- ①特殊算の名称は覚えさせていますか？
- ②線分図や面積図などは描くようにしていますか？
- ③空間図形の指導で注意していることがありますか？

**K全分科会共通**

- ①理解度の異なる生徒の指導法は？
- ②理解の遅れている子にはどの様に指導していますか？
- ③各学校のカリキュラムの違いにはどのように対処していますか？
- ④模試をどのように活用していますか？
- ⑤授業中に復習の時間を設けていますか？又、それはどのくらいの時間ですか？
- ⑥休んだ生徒へのフォローはどうしていますか？
- ⑦講習はどんな位置づけですか？又、どんな工夫をしていますか？
- ⑧指導上の工夫やオリジナル指導術はありますか？

**A高校受験数学**

参加者(敬称略) 岩瀬善孝(ナカジユク)、岡田保雄(東京私塾協同組合)  
 小林一哉(LAPIS鎌ヶ谷)、高橋尚人(LAPIS鎌ヶ谷)、谷村志厚(AIM学習セミナー)  
 オブザーバー 碇優(碇塾)、リーダー 矢澤由雅(明誠塾)

**前提**

当分科会においては、碇先生・岡田先生というエキスパートをお迎えし、若手の諸先生が教えを請う形式にて進行された。よって、議論は細部に渡り、具体的且つ普遍的であり、必ずしも分科会のテーマに添って、全ての議論が進められたとはいえない。従って、テーマとはやや乖離した報告となる可能性もあるが、その点はご容赦願いたい。(一部、報告書としては不適切な表現がございますが単なる余興です。あらかじめ、お詫び申し上げます。)

**1R**

1. 2002年度の指導内容は、旧学習指導要領ですか、新学習指導要領ですか？

**◎結論**

数学は、人工的・合理的に無駄をなくし、矛盾を解決してきた学問である。つまり、数の進化・計算の進化に従って発展してきた学問である。

以上に基づき、順を追って説明するのが必然で、言い換れば、数学が発展してきた流れに従って指導するのが自然である。よって、削除事項でも触れざるを得ないところがあり、基本において新旧指導要領の差は問題ない。

**◎具体論**

数学を使いこなすための具体的な方向性としては、第一段階として、人工的・合理的に作られてきた数字と計算を理解することが、大前提となる。例えば、算数との比較がよい例である。算数と数学の違いは、前者が具体的な数字を扱うのに対し、後者はそれを一般化して扱おうとする点である。

具体例を挙げてみよう。

今、小学生の諸君に四則ができるか否か尋ねてみたとする。通常、彼らは全て習っているはずだと考える。ところが、小学生の扱う数字では、以下の左欄のように表現できない計算がある。

$$5-3=2$$

$$5-4=1$$

$$5-5=0$$

$$5-6=-1$$

$$5-7=-2$$

ここで、右欄を見てみよう。 $5-5-1$ や $5-5-2$ などのように小学生にとっては-1や-2が邪魔になっているのがわかる。そこで、これをそのまま

ま数字にしてしまうことでマイナスが生まれたのである。この概念の導入により、小学生レベルの四則は中一の正負の数へと発展し、この段階における四則は負の数もとりいれた状態となる。

この例のように、存在しない数字を人工的・合理的に作り、一般化してきたのが数学である。つまり、まずはそうした流れに従って導入を行うのが自然である。

次に数学は人工的なものであるが故に、数を使いこなす訓練は欠かせない。よって、第二段階として計算を訓練する必要が生じるのである。

第一段階において、マイナスを理解した場合、問題となるのは正負の数の加減である。皆さんもご経験のように、乗除より加減で躊躇生徒が多い。

解決法は多々あるが、以下に御一例を紹介する。

例	ポイント
1. トランプゲーム	・計算前に赤札と黒札による大小比較。(正負の見極めのため) ・赤札と黒札を利用した単純な計算。
2. レジュメ	・全計算パターンが載せてある。 ・比較させる。

※注意点…符号と記号の違いを理解させる。

各種括弧の使用法を理解させる。なお、この段階において、関数を想定して正負を理解させ、後の関数のために布石を打つ方法もある。

第二段階として、それを利用する思考を指導することになる。

以上の例のように、各单元において、自然な流れとして数学を指導した場合、是々非々で望まさるを得ない。本来生徒は指導要領など知らないわけであるから、それで問題なし、というのが結論である。

2. 2002年度の教材はどの様なものを使用しましたか？難易度はどうでしたか？

◎おことわり…具体的なテキスト名・業者名については掲載しません。

**◎結論**

数学においては導入が最も大切であり、そ

こでは教材より教師の力量が問われる。あくまでも教材はその補助であり、教材選定にあたっては、生徒の能力と入塾時期、地域性、及び、自らが何を指導するのかという目的に合わせて用意する必要がある。

#### ◎理由

次の項目の問題点を確認して頂くと早いのだが、数学科では、生徒の能力と入塾時期、地域採用教科書の影響を無視することができない状況にあり、フレキシブルな対応を迫られている。

#### ◎問題点

1. の「◎具体論」で挙げた第三段階(思考)、並びに、地域による採用教科書との兼ね合いがある。具体的に、前者においては上位層と下位層の差の問題、後者においては単元の順序の問題である。

まず、上位層と下位層の点から先に述べると、上位層においては、旧指導要領の内容に近くレベルの高いものが望ましい。下位層では、新指導要領に準拠したワークが望ましい。

次に、採用教科書(特に中三の場合)の点である。ある教科書を使用している地区の場合、中三における単元の順序が問題となる。塾用教材や大多数の教科書は、通常、文字式→平方根→方程式→関数→相似→三平方の順で、普通の教科書もまた然り。だが、ある教科書は、平方根が最初で関数が最後になっている。ちなみに、ある教科書と同じ単元構成になっている塾用教材は準拠ワークだけである。また、この教科書を採用している地域は最大である。

これらの点により、入塾時期における進度、地域における進度が錯綜している。

よって、数学は入塾時期・採用教科書・生徒の能力の三点から一斉授業で対応するのが難しい状況にある。試しに、この三点をそれぞれ単純化し、A・B二通りずつとして組み合わせてみる。それだけで8通りのパターンが出来上がる。それなら8組作るのが妥当かもしれないが、人数の問題でそうは行かない。また、実際の生徒の状況はもっと複雑なのである。

問題点をまとめると、やらなければならぬ単元がそれぞれに異なるので、どうしても分化したくなる状況が、特に春先の中三において、多々存在する。しかし、現実には難しく、導入部分のように標準化できる部分はできるだけ標準化しなければならない。そこで、指導

者の力量が問われることになる。

以下は、その対策の具体例のいくつかである。

#### ◎対策

1. 地域別に教科書ワークを準備する。
2. 塾用教材を使用するが、生徒の入塾時期により単元の順序を入れ替える。
3. 自主作成のレジュメを用意する。
4. 授業の板書で基本を網羅し、ノートを参考書になるように作らせる。

3. 生徒や学校に対する配慮はどうすべきであるとお考えですか?

\*生徒の希望する内容をどれだけ考慮すべきとお考えですか?

→是々非々。瑣末なことは気にしない。数学の大奥に乗っ取り肅々と進むべし。という雰囲気。よって、議論省略。

\*私立中高生の指導は、学校と連携するべきですか?どの様に連携することが望ましいですか?

→(中高生を中学生と読み替えた場合)どこからでもかかってきなさい。生徒諸君の基本がしっかりとていたら、高校だって余裕で教えちゃうよ、OKだよ。という雰囲気。よって、議論省略。

\*公立中高生の指導は、学校の進度や授業内容をどれだけ考慮すべきとお考えですか?

→(中高生を中学生と読み替えた場合)受験の時期を考えれば、中三においては十二月頃までに全てを終えるのが妥当である。受験を想定し、学校の進度は気にせずにすむ状況を作れば、途中入塾者は別として、在塾生の進度の混乱は減る。

#### 2R

1. 新学習指導要領、絶対評価導入により、変化したことは何ですか?

☆★ちょっとコーヒーブレイク★☆

(Mr. T氏登場!!です!!)

生徒じゃなくて、塾長の数学の先生といわれるT先生がのたまわれた。

「G馬じや英語数学の配点を200点にする学校が増えているね。重視して

いるみたいだよ。」

Mr. T氏曰く、

「そういえば、数学だけどね～、最近習熟度別の授業をする学校がC葉で増えているよ。S玉はどうだい。」

若者ZZZ謂う、

「補助の先生をおくようになっていますよ。」

Mr. T氏曰く、

「そうすると我々も大変だね～。(雰囲気だけお伝えします。あくまでも創作です。)「若手の諸君、ヨシッ！がんばろう！みんなでエイエイオ～だ。」(若手、目を輝かせてうなずく。)(握り拳を振り上げて！大きく！)「それ、エイエイオ～！」

若手の諸君、「エイエイオ～！！」

(やってない。言ってない。)

O理事長とI大先生ハモって曰く、「君たち脳味噌筋肉だね～。」(そんなことおっしゃっていません！)

## 2. 新学習指導要領外の指導は？

◎以下に、必修項目とオプション項目を軽くまとめた。3Rを参照のこと。

### 必修

- 条件を満たす点の集合(中1作図の前に)
- 解の公式(中3平方完成の後に)
- 関数とは(中1中2中3関数導入時)
- 対応について(中1中2中3関数導入時)

### 指導要領に加えてオプション

- 不等式(中1方程式のあとに)
- 解の公式の変形(中3高校に備えて)
- 関数記号( $f(x)$ など)に触れる。(中3高校に備えて)

◎方程式の応用について、教科書は以下のようになっているという意見が出た。

	食塩水	売買
中1	ナシ	有り
中2	有り	ナシ

天の声、「ふつ、ふつ、ふつ、何でこうなるのかネ～。」(…？？あれ？、誰？)

## 3R

### ◎前提とまとめ

以下の報告は、小生はもとより、岩瀬・小林・高橋の諸先生が、碇先生・岡田先生からご指導頂いたことの一部である。残念ながら、具体的、且つ、細部に渡る指導の全てをお伝えすることは、断念する。なぜなら、余りに長くなりそうだからである。そして何よりも、講義は、その場にいなければわからない雰囲気と共に存在する故、誤解が生じないとも限らないからである。よって、どこまで具体的に、何がどのように話し合われたかという瑣末な報告は、一切書かない。ここでは、ある程度の方向を示す材料を、ピースとして提供する。辛抱強くここまでお付き合い頂いた数学の諸先生には、それだけあれば十分であると思う。そして、それらを繋ぎ合わせ、オリジナル指導法を生み出すのは自由であり、指導者の腕の見せ所であり、また、そのように役立てて頂ければ幸いである。以下は、項目の列挙が基本になるので、この文を報告のまとめと考えて頂いて差し支えない。当分科会に参加してくださった、碇優、岩瀬善孝、岡田保雄、小林一哉、高橋尚人、谷村志厚の諸先生に、心から御礼申し上げたい。

### 1. 大前提

数学を思考科目と考えている例が見受けられるが、矛盾を克服するために人工的に作られたものであるのだから、思考以前に、暗記・計算を大切にしなければならない。

### 2. 計算、並びに、方程式

・符号と記号の違いを徹底する(中1正負の数)

・各種括弧の使用法を徹底する

・不等式(オプション)

計算方法は同じなので、中1の方程式の後に行う。

・解の公式(中3平方完成の後)

四種類数え、まずどれを使うか判断する練習を行い、その後計算練習。

・解の公式の変形(高校に備えて)

式の理解、並びに、式の変形の練習によ

### 3. 作図

条件を満たす点の集合(作図の前に大切なことがある)

円…ある一点から等距離にある点の集合

垂直二等分線…ある二点から等距離にある点の集合

角の二等分線…角を作る二辺から等距離  
にある点の集合

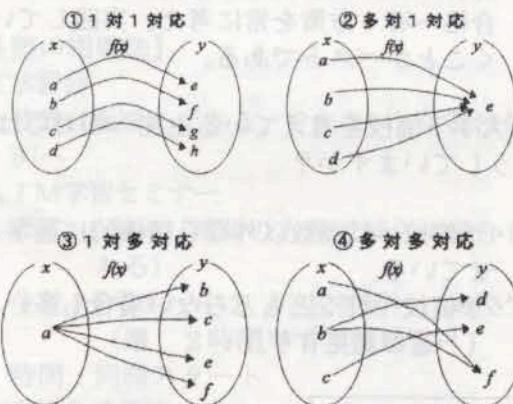
#### 4. 関数の導入について

- ・対応について（関数とは何かを知るためには、対応を教えるのは大切である）
- 関数…数と数との対応
- 変換…点と点との対応
- 写像…物と物との対応
- ※対応には次の四種類がある（高校の逆関数に備えてやるべし！ブラックボックスも忘れないでね！）

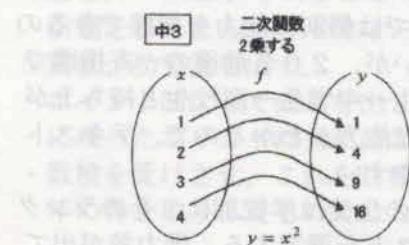
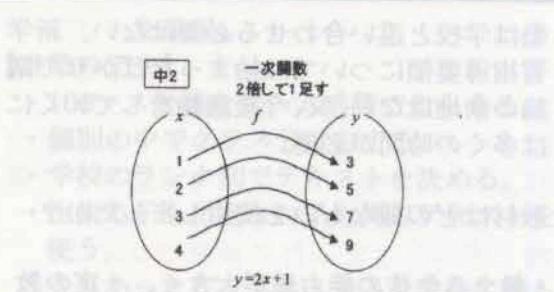
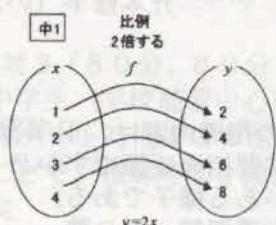
①1対1の対応      }  
②多対1対応      } 一次対応(関数)

♂と♀の対応は…人間的な…あまりに人間的な…（他、人と椅子など）

③1対多対応      }  
④多対多対応      } 相関関係がある



関数とは何だろう（高校に備えて  $f(x)$  も教えてしまおう！ブラックボックスも忘れないでね）



- ・傾きと切片（以下は意外につかっていない生徒が多い）
- 切片とは何だろう…切片とは始めの量である
- 傾きとは何だろう…傾きとは一あたりの量である
- 傾きにはいろいろな呼び方がある…

- ・直線の式について（四パターン押さえ  
る・必修）

傾きと切片・一点と切片・切片と一片・二点

#### 5. 数学豆知識（覚えちゃえ！）

- ・「通る、～を通る、～上にある」は代入
- ・「中点は平均」
- ・「重心は三点の平均」

#### B大学受験数学

- 参加者（敬称略） 渡辺公雄（渡辺塾）  
深沢宏（木村総合学園）  
大西優（湯口塾）  
渡部信雄（尚学舎）  
青沼隆（伸栄学習会）  
リーダー 桂馬辰尚（桂馬ゼミナール）

#### 1R

1. 2002年度の指導内容は、旧学習指導要領ですか？ 新学習指導要領ですか？

- ・原則として旧学習指導要領準拠。ただし、

塾は学校と違い合わせる必要はない。新学習指導要領については始まったばかりで議論の余地はない。又、今後議論をしていくには多くの時間が必要。

## 2.教材はどの様なものを使用しましたか？

- ・教える生徒の能力差が大きく、一定の教材を使用することは不可能。
- ・個別指導では個別に能力を把握できるので問題ないが、20名前後の一斉指導では、小学生→中学生→高校生と持ち上がりの生徒は能力がわかるので、テキスト選定はしやすい。
- ・途中入会の生徒は学校別に、そのランク別にテキストを選定する。学力差が出てきたときは、夏休み、冬休みに講習会に参加させて遅れを取り戻す。

## 3.生徒や学校に対する配慮はどうするべきであるとお考えですか？

- ・地方県立上位校（トップレベル3校）の進路は早く、3年の1学期までに3年内容(数3・数C)を終了するところがあり、生徒自身がそのペースで全内容を理解していることは困難。早く進むところほど、始めの方は忘れてるので、そこを補っていくことが合格へのカギとなる。
- ・合格するためには3年1学期までに全内容を終了し、その後、演習で鍛えていかなければならない。
- ・当然学校の授業では間に合わず、塾、予備校が使命を果たしている。

## 2R

### 1.新学習指導要領、絶対評価導入により、変化したことは何ですか？

- ・まだスタートしたばかりで、話し合うには時期尚早。
- ・学力意欲の低下は、はつきりとあらわれている。早い時期からの学習（大学受験へ向けた）が必要となる。小4あたりがベストだ。

### 2.新学習指導要領外の指導は？

- ・高3の早い時期（1学期くらいまで）に受

験に必要な項目は終了し、2学期からは、数多くの演習で力をつけていくことが重要。その内容、方法を話し合う時間が足りない。

## 3R

### 1.大学受験を考えている生徒をどのように指導していますか？

- ・学力差が生じた生徒については、夏冬春の休みに講習会に出席させ、ついていくようにする。（週2回程度の授業では遅れを取り戻すのは難しい）
- ・クラブ参加者は高1まで、それ以後は受験に専念させるようとする。クラブで帰宅が遅い生徒は10時から12時くらいまで指導（高学年の方が積極的）
- ・生徒のやる気をおこす。大学に合格した生徒の体験を話させる。大学の活動（コンサート、文化祭など）積極的に参加させる。
- ・進路→受験校→試験相談日→今何をしなければいけないのかを生徒自身に自覚させる。
- ・教える側と教わる側の信頼関係を築き、合格へ導く方策を常に考え、実践していくことがベストである。

### 2.大手予備校を考えている生徒への対応はどうしていますか？

- ・予備校へは英数以外なら積極的に通学させている。
- ・予備校へ行くともどらない場合も多い。（と逆の意見有り。）

## C個別指導数学

### 参加者（敬称略）

安藤進理（桜学習会）  
秋山勇（東進総合予備校）  
森木優（JUKUペガサス）  
横山圭（湯口塾）  
谷村和枝（AIM学習セミナー）  
升本修平（いぶき学院）

### オブザーバー リーダー

## 1R

### 1.2002年度の指導内容は、旧学習指導要領ですか？ 新学習指導要領ですか？

- ・地域差がある様子である。  
新学習指導要領…湯口塾  
旧学習指導要領…桜学習会、AIM、ペガサス東進  
使い分け…いぶき

2. 教材はどの様なものを使用しましたか?
- ・各塾生徒1人1人に合うものを探す。
  - ・eトレを導入したがほとんど使うことはない。(ペガサス)

3. 生徒や学校に対する配慮はどうするべきであるとお考えですか?
- ・個別なので生徒次第

## 2R

1. 新学習指導要領、絶対評価導入により、変化したことは何ですか?
- ・明らかにできなくなっている。
  - ・絶対評価により、地域差が大きくなっている。
  - ・あまり影響がない。
2. 新学習指導要領外の指導は?
- ・不等式、解の公式、置き換え、平面図形、球、台形、水溶液の計算

## 3R

### 【各塾の指導法】

- ・桜学習会  
特殊(極端にできる、できない)生徒は個別へ
- ・AIM学習セミナー  
形式: 1対4(講師の力量で減らす場合もある)  
生徒: 小学生～中2(学校補習)、高校生  
(週 2時間半で学校補習)  
時間: 同時スタート
- ・東進総合予備校  
形式: 1対4(1対8で失敗、減らしていく。)  
時間: 同時スタート、終わった順に変えるので終わりはバラバラ。
- ・JUKUペガサス  
形式: 1対8(パソコン使用。1人で指導)
- ・湯口塾  
形式: 1対3(50分、80分を選べる。)  
生徒: 中学生(学校補習中心)  
時間: スタート時間を30分ずつずらすことで、指導時間を確保
- ・いぶき学院  
形式: 1対3  
生徒: 中1～高3  
時間: 15分ずつずらすことで、指導時間

を確保

### 【各塾の工夫】

- ・100マス計算をゲーム感覚でやらせる。
- ・個別の中でクラス分けをする。
- ・学校のランク別でテキストを決める。
- ・出来る子も出来ない子も同じテキストを使う。
- ・今日あったピックニュースを生徒に語らせる。
- ・宿題を忘れたらペナルティーを与える。
- ・賞状、功労賞を出す。
- ・ポイント制にして商品を出し、卒業の時に残ったポイントは兄弟に加算される。
- ・数検を受けさせ、これを目標にすれば学年の枠を取り扱えるのではないか。

## D1高校受験英語

- |          |                  |
|----------|------------------|
| 参加者(敬称略) | 佐藤哲平(ナカジュク)      |
|          | 山田明子(山田塾)        |
|          | 中村基和(学習塾全国連合協議会) |
|          | 加藤雅之(十文字中学高等学校)  |
|          | 湯口兼司(湯口塾)        |
|          | 真鍋義成(湯口塾)        |
| オブザーバー   | 立脇堯(富士進学スクール)    |
| リーダー     | 山本かつ(いぶき学院)      |

## 1R

- 真鍋:**新教科書+1ランク上(長文は取り入れる予定)。公立入試が内申点重視。香川県の公立は内申:学力5:5
- 山田:**真鍋先生と同じ
- 中村:**中位以下 新、上位は旧。
- 加藤:**入試を意識、英語は公立より倍の時間。常駐のネイティブ4人。文科省に従いつつ、私学の特色を出している。
- 立脇:**特進以外 新、周辺の大手塾は準拠していない様子
- 佐藤:**基本は旧。準拠教材は自習用に渡している。北区から来る子がいるために教科書を使えない。学力重視。

## 2R

- 佐藤:**内申の付け方が変わってしまい、かわいそうな生徒がいる。「〇点とったら5に

なるから、ここをやるといい。」とアドバイスする。

**中村**：内申と学力との差がある

**加藤**：今年度は入学したばかりでわからないうが、内申点が良くても、学力が良いとは限らないことが過去にはある。

**山田**：ずっと2だった子が急に3になり、「平均だから。」と思い込み、安心しきっているケース。内申1・2は少ない。

**湯口**：提出物や授業中の態度が今まで以上に見られる分、しっかりやるように指導している。

### 3R

#### ☆英単語について

**真鍋**：単語テスト実施。1語しか書けない子が3語書けたら、みんなに拍手してもらう、ゲーム感覚等やる気促す工夫。

**立脇**：家で各自やってもらう。

#### ☆形容詞的用法（関係代名詞等）の指導法

**湯口**：主格～目的格まで全部を表や手順を、生徒にノートに書かせ、覚える。その後、たくさんの問題演習（易→難）。早く終わつた生徒は、終わっていない生徒に教える。「学校でやるのはこれだけだ」と話す。

**立脇**：継続用法・関係副詞といった高校生の範囲を教えるときある。

**中村**：「『thing to不定詞』は絶対、形容詞的用法だ。」と教えている。

**湯口**：to不定詞の訳は、「こと・ため・べき」だと覚えさせる。

**山田**：形容詞的用法のものを順にやってから、関係代名詞をやる。分詞→不定詞（形容詞的用法）→前置詞+名詞（主+述）→名詞（主+述）→関係代名詞

**立脇**：8品詞・5文型（小6→中1になった生徒）を教えて、形容詞の概念を早いうちから修得させる。

#### ☆その他の指導法

**立脇、中村、湯口**：受動態は日本語からやる。

**湯口**：「『Run is fun』は何でダメなの。」「受動態の『be動詞+過去分詞』をみて何か変だぞ。」「関係代名詞のwhoは何か」等考えさせる。

### D2高校受験英語

参加者（敬称略）	曾川真子（湯口塾）
	小山卓司（湯口塾）
	奥松研亮（創研塾）
	古宇田陽介（渡辺塾）
オブザーバー	小高礼二（小高塾）
リーダー	安藤 光（桜学習会）

### 1R

1. 2002年度の指導内容は、旧学習指導要領ですか？ 新学習指導要領ですか？

・基本的に新学習指導要領で、必要と感じた単元、項目については、各塾の先生の判断で旧学習指導要領から取り入れる塾が多い。理由として、昔の生徒達に比べ、最近の生徒達の理解力の低さが強く感じられるからである。ただし、学力の高い生徒達（Aクラス）についてはレベルの高い授業を展開する事ができる。

2. 教材はどの様なものを使用しましたか？

・準拠教材を中心に使用している塾、自習用として渡している塾、様々である。  
 ・基本的に各塾（各先生方）のオリジナル教材、プリント等が一番、学力向上に役立っている。（残念ながらプリント等を持ってこられた先生はおられませんでしたが…私を含めて）  
 ・発音、音読に関して、リビーター（ソニー）が大変有効である。（小高先生）  
 ・複数の地域から生徒達が通塾されている塾の場合、完全に教科書からはずれ、一般的なカリキュラムで進行させ、板書中心の授業をとらざるを得ない塾もある。（内容としてオリジナル！）

3. 生徒や学校に対する配慮はどうするべきであるとお考えですか？

・中間・期末テストの1週間前から10日前は授業を中断し、質問を受け付け、テスト対策、テストプリントを配布し、内申点を少しでも上げられるようにサポートする。

## 2R

1. 新学習指導要領、絶対評価導入により、変化したことは何ですか？

- ・絶対評価の導入により、地域によっては内申点の計算（読み）に狂いが生じ、都立高から私立高へ進路変更をせざるを得なかつた残念な生徒さんもいたとのことである。
- ・英語力を上げるために大事なものは、日本語力、国語力ではないか？最近、残念ながら、国語力の低下を感じている先生が多い。普通に作文が書けない。のために、英語の長文読解、英作文（日記）等に、かなりのマイナス影響が出ているのではないだろうか。
- ・新学習指導要領より、教科書（キーセンテンス）から削除された項目として、感嘆文、付加疑問文、否定疑問文が挙げられた。

2. 新学習指導要領外の指導は？

- ・逆に、昔は教わっていたが（現30代半ばから上の先生の世代）今では教える必要がないであろう（現高1で習う）単元として、現在完了進行形（現在完了の継続との違い）、仮定法、過去完了  
(注)ただし、最難関私立高を受験する場合は必要である。（開成高、灘高等）
- ・英単語・英文にカタカナで読み方を書かせることは、絶対に良くないことである。正しい発音とカタカナ発音は全く違う！（小高先生）しかし、しかたなしに書かせている先生もいる。

## 3R

①英単語の学習でどんな工夫をしていますか？

- ・市販されている単語帳（旺文社、学研等）を生徒に配り、分割して、進級テスト形式をとられる塾が多い。

②長文はどの様に指導していますか？

- ・とにかく量をこなすことである。わかりやすい内容の長文読解教材を選び活用することである。（ただし、どこの塾さんも時間がとれないと嘆いている。ホネ…）

③発音の指導はどの様にしていますか？

- ・準拠CD、カセットテープ、リピーター（ソニー）  
・高校に進学し辞書を引いて単語の発音

記号がわからず読めない…ということがないように、最低限必要な発音記号は指導する。

※中学3年間で必要な単元（CAIコンピュータシステム参考）

単元：20から細かく分けて25単元

項目：126～128項目

これを、塾や予備校等で週2～3回で終了させることは各塾さん、なかなか大変なことである。

## E大学受験英語

参加者（敬称略）	元木由香（湯口塾） 湯口哲朗（湯口塾） 中村欣文（莉草学院） 佐藤勇治（調布学園） 馬場正彦（小川ゼミナール） 監物一男（向学館）
オブザーバー リーダー	

## 1R

1. 2002年度の指導内容は、旧学習指導要領ですか？新学習指導要領ですか？

- ・旧学習指導要領で指導している。理由は旧学習指導要領で指導しておけば大学受験にも対応できるから。

2. 教材はどの様なものを使用しましたか？

- ・教科書によってレベル差がある→「チャート」を使用し、文法事項を補足している。（高校で補助教材として使用しているようである。）
- ・テキストをレベル別に分かれているものを使用し、指導している。（個別指導）
- ・高1は学校中心に、高2からは実力養成を中心指導する。

## 2R

1. 新学習指導要領、絶対評価導入により、変化したことは何ですか？

- ・公立校と私立校の較差が生じている。高1のリーダーなどの教科書は易しくなっているので、レベルダウンが心配である。
- ・英単語力が落ちている。→定期的に英単語テストをして練習させる。

## 2R

- ・発音も変化しているので、最新の発音やアクセントを指導する。
- ・「読み書きそろばん」の言葉通り、読んで書かせることが大切！
- 単語ノートを各自に作成させて、意味、例文を書いておく。言葉は使われなければ忘れるモノである。
- ・大学入試では、英文読解が6割くらいをめているので、文法中心にやる必要がある。最終的には大学によって配点も入試問題も異なっているので、学校別に過去問などを指導する必要がある。

## 3R

- ・辞書は改訂版を使用するようにする。

## F個別指導英語

参加者（敬称略）	清水武夫（清水塾） 角川博信（スタディ・スクエア 馬事公苑） 清水広志先生（学習塾 フォロー）
オブザーバー リーダー	仲野十和田（ナカジュク） 小野田光伸（ナカジュク）

## 1R

- 1.2002年度の指導内容（新？旧？）は？理由・やってみて・今年度は
  - 2.教材はどうしましたか？
- ・準拠版と文法書2冊渡す。準拠版は新指導要領のもの。
  - ・削除されたとはいへ個別なので問題数が多いもののほうがよかったです。今年度も同様テキスト。
  - ・栄光赤刷りがよく個別対応しやすい。・内容かわっても「単語」ベースに力を養っていく。

## 2R

- 1.絶対評価導入で
- ・地域によって格差あり。
  - ・英会話要素が増えてきたが、実際リスニング対処はできていない。→クラス授業で土曜日など別枠を設たりする。

- ・授業中英語で話すように心がける。
- ・音読をきちんとやらせる。

## 3R

- ・個別の長文は味気ないものになってしまふので「慣れさせる」ことに重点。テキストを工夫して短文から長文への移行。
- ・まったく出来ない子へは視覚的に△や下線などで主語動詞等わかりやすくさせ文の形をみつけさせる。また並べ替え中心に進めるなど進めていく。
- ・ローマ字読みすら出来ない子へはパソコンで文を入力させ定着はかる。

## G高校大学受験国語

参加者（敬称略）	園田誉（ナカジュク） 石田治正（英進学院） 菅原明之（塾全協） 劉艷玲（私塾協議会） 青柳博（LAPIS鎌ヶ谷） 若松久雄（荀草学院） オブザーバー リーダー
	加藤実（総合教育研究会） 渡辺浩（人間教育渡辺塾）

## 1R

1.2002年度の指導内容は、旧学習指導要領ですか？新学習指導要領ですか？

「国語」は旧課程と新課程にたいした差異はないので、塾の授業がいわゆる学校に合わせる形で行われているのか、塾独自の授業を行っているのかから始めました。結果、菅原先生以外は「受験用」の国語テキストを使って授業を行い、定期テスト前には「ワーク」を使って授業をするところが多かったです。

菅原先生（江戸川区）の塾は、通常時には学校の授業に合わせた授業を行い、自塾で作ったオリジナルプリントで「文法」「漢字」「記述問題」などは対応しているそうです。また、石田先生（葛飾区）の塾では中2から都立過去問題集を使い、入試対策を行っているそうです。さらに、1年生には事あるごとに「短文」を作らせ、授業中に発表させているそうです。

2.教材はどの様なものを使用しましたか？

上記の通り、ほとんどの塾さんではいわゆる「国語問題集」を授業で使い、テスト前には「ワーク」を使う所が多かったです。また、石田先生の塾では「国語資料集」を持たせ絵を使って授業するそうです。文学史など特に重視しているそうです。岩松先生の塾では「フラッシュカード」を授業に取り入れるなど変わったアイディアもありました。また青柳先生の塾では「過去問」をやらせた後全国白地図を塗りつぶしさせるなど面白いアイディアもありました。さらに、加藤先生の塾ではいわゆる市販や塾用の教材では物足りず、オリジナルテキストを作って生徒に持たせている塾もありました。どの塾にも共通でいえたことは独自のプリントを作って授業に役立てているということです、これは現状の教材は物足りなかつたり、余計な解説があるということでした。

## 2R

## 1.新学習指導要領、絶対評価導入により、変化したことは何ですか？

- やはりどの区も「絶対評価」は全体的に上がっているという見解でした。特に荒川区（加藤先生）はひどいようで、「語句」や「文法」の知識が全くなくとも「4」や「5」が付けられているということでした。また、女の子の評価が高いことも共通していました。

## 2.新学習指導要領外の指導は？

- 岩松先生の塾では土曜講座に「思考訓練」という講座を行い、記述の問題などに入れているという塾がありました。また、加藤先生の塾では「国語は人生である」というような考えを生徒たちに率先して指導なさっている塾もありました。

## 3R

## ①文法はどのように指導していますか？

- 加藤先生の塾と渡辺塾では特にこの「文法」に力を入れて指導をしています。加藤先生は「文法は自国の言語であり、おかしな日本語にならないようにする」という考え方から、また渡辺塾では「高校の文語文法に役立たせる」という考え方から力を入れているよう

す。他塾さんも文法は必ず指導するが、両塾も含めやはりオリジナルプリントやテキストで指導している所が多かったです。理由は先にも述べたとおり「物足りなさ」が原因でした。

## ②公立高校対策はどの様にしていますか？

- ここ数年で「国語」の都立問題の傾向が変わってきて現状からこの質問をしたのですが、「文法」や「文学史」、「語句関連」の問題が少なくなってきたことに不安を感じているのは共通の見解でした。ただ、だからといってその傾向に合わせるのではなく、どの塾さんもやはり「文法」などは指導を続けていくということでした。

## ③韻文の対応はどのようにしていますか？

- 加藤先生の塾では毎回の授業で「百人一首テスト」を行い暗記させるそうです。これは古文に対して抵抗をなくす効果があるそうです。

## ④漢字はどのようにやらせていますか？

- 青柳先生の塾では「漢検」の問題集を持たせ、1年生は5級、2年生は4級、3年生は3級の問題を1・2年は週2回、3年生は週3回確認テストするそうです。菅原先生の塾ではオリジナルの昇級式テストで対応するそうです。渡辺塾でも昇級式のテストを2ヶ月に1回行い、結果を教室に張り出して生徒たちをおおっています。また旺文社の『出る順』を副教材として持たせているという意見もありました。

## H高校受験理科

参加者（敬称略）	青木慎一（ナカジュク） 田中敏勝（武蔵丘学院） 浜克行（莉草学院） 谷村志厚（AIM学習センター） 鈴木正之（いぶき学院） 島崎英明（人間教育渡辺塾）
オブザーバー リーダー	

## 1R

## 1.2002年度の指導内容は、旧学習指導要領ですか？ 新学習指導要領ですか？

「旧課程、新課程を意識するのではなく必

要なものを教えていた。」「新課程では内容が足りないので旧課程の内容を臨機応変に盛り込みながら指導をしている。」と、ほとんどの先生が基本的には旧課程の内容を指導しているそうです。

## 2.教材はどの様なものを使用しましたか？

「実験、観察などのビデオ教材を取り入れている。」という意見もありましたが、理科の画像が見えるよい教材がないのが現状のようです。

## 2R

### 1.新学習指導要領、絶対評価導入により、変化したことは何ですか？

絶対評価については評価が甘くなつたようです。学校ではプリント学習が多いようですが、評価に対する基準があいまいなので、塾としては「ペーパーテストの点を上げる」など基準の見える部分に力を入れるという意見が出されました。

### 2.新学習指導要領外の指導は？

「新課程で削除されたイオンは中和の指導に必要なので教える。」「仕事量はエネルギーの指導に必要なので教える。」など、繋がりのあるものは新課程、旧課程関係なく指導していくそうです。また、周期表、電磁誘導、電流と発熱なども指導すべき内容として挙げられました。

## 3R

### ①元素記号等の指導はどのようにしていますか？

基本的には元素記号は必要なものを指導しているようです。

### ②実験、観察のやり方はどのように指導していますか？

田中先生から「身の回りの素材を使った簡単な実験を行って生徒に興味を引き、指導内容につなげている。」との意見が出されました。インターネットを活用して天体などの画像を取り入れているそうです。

③公式の指導はどのようにしていますか？  
「公式として教えるのではなく、オリジナルの解き方を教える。」「単位を使った語呂で覚えさせる。」「図を用いて解かせる。」などの指導法があげられました。

## I高校受験社会

参加者（敬称略）三井雄介（渡辺塾）  
禿 雅子（和洋国府台中学高等学校）  
小松敦子（私塾情報センター）  
オブザーバー 石川維雪（スタディ・スクエア馬事公苑）  
リーダー 竹内康信（山吹学習会）

※出た意見を羅列させていただきます。

- ・中3の社会は、1学期のみ公民を指導し、2学期からは地理と歴史を指導する。（三井先生）
- ・新カリキュラムにこだわらずやるべきことはやる。（禿）
- ・地理では近郊農業・農地を、公民では裁判を実際に見学する。（禿）
- ・中3で社会をやると子供達のベースの低さにびっくりする。
- ・1・2年で基礎をつけてやるべき。（石川）
- ・生活に結びつけた自分の問題として問題提起する。【例：国際結婚している〇〇ちゃんのお母さんの国】（小松）
- ・旧過程の教材使ったほうが授業進めやすく、生徒もわかりやすい。（石川）
- ・授業を楽しくするために、「日本列島どっこいしょ」「モーニング娘の県庁所在地」などを使う。（禿）
- ・民族衣装の実物を持ってきて見せる。（禿）
- ・解説→宿題→確認テストという流れで指導する。（三井）
- ・2冊持たせて、一冊は家庭学習としていつまでにやっておくよう指示し、1冊は塾でやらせる。（石川）

## J中学受験算数

参加者（敬称略）山口哲弘（山口塾）  
北川健治（栄光ブレップ）  
田中宏道（LAPIS鎌ヶ谷）  
沼田広慶（学習塾全国連合協議会）

木村和弘 (ルックデータ出版)  
 オブザーバー 山口恭弘 (山口塾)  
 リーダー 大住明敬 (聖学舎)

大手塾がチラシ攻勢で生徒獲得にしのぎを削るなか、小さな塾はどのように対応していくのか切実な問題を皆さん抱えながら分科会に集まられた。

執行部で用意されたテーマの多くは、中学受験にとっては関わりが少ない(新学習指導要領など)ものぞと、各中学入試問題は作成されております)こともあって、各塾、各先生が思い悩んでいることを中心に話しを進めた。

テーマとしては3つ設けました。

- ① 生徒のヤル気を出させる
- ② 使用教材
- ③ 生徒募集

1.まず、ヤル気はどう出させるかを考えました。各塾の現状紹介を通して問題を考えました。

◎田中先生は中学受験を始められて1年半ですが、多くの生徒を集められています。週4~5日通塾してもらい、とにかく面倒見を良くしていくことで、生徒一人ひとりの対応策を考えながら進めているとのこと。

※ヤル気を出させるポイント=面倒見

◎沼田先生は文武両道塾ということで、まず柔道で汗を流しながら、勉強にも取り組むという大変ユニークな塾のようです。昔は思いっきり投げ飛ばしても、食らいついてくる子が多くたが、今はちょっと投げるだけで嫌になり勉強も止めてしまうので、手加減をしているとのこと。できる限り面談の回数を増やすことでヤル気アップを図っている。

※ヤル気を出させるポイント=生徒との接触を多くする

◎山口先生は30年の永きにわたり、生徒を指導されての実感として、一つ一つの単元をきちんと基本からわかるまで教えることで、地域の信頼を得られ、やつてこれたのだとしみじみ話された。毎回チェックテストをして、その解説を丁寧にすることで、とことん生徒に関わり、ヤル気の芽を見いださせてやることが大切とのこと。

※ヤル気を出させるポイント=わかるまで指導

◎北川先生は、中学受験より高校、大学受験生が多いが、中学受験を失敗した場合どう対処するかについて、「中学だめなら、高校あるさ」となかなか割り切れるものではなく、中学受験はそこで燃えつきるまで指導をしたいとの思いがあると話され、とにかく問題演習をたくさんやらせることで自信をつけさせれば、そこからヤル気が見えてくると話された。

※ヤル気を出させるポイント=問題演習

◎大住は開塾して6年ですが、毎年中学受験の6年生(3~8人ぐらいの生徒)を難関校に合格させるため、四谷大塚Y.T.ネット会員とさせ、毎週の結果が目標値に届くよう頑張らせてています。4:30~7:30までを週3~4日の短期集中勉強を心掛けています。その分自学自習時間が必要となりますが、いろいろアドバイスをすることでヤル気を出させています。

※ヤル気を出させるポイント=集中力の養成

ヤル気を出させることについては皆さん同じ結論だったようです。

2.個性の強い先生ばかりでした。話の進め方は大変難しいと実感しながら、次のテーマ「使用教材」に入りました。

◎予習シリーズ+補助プリントの塾…2塾

四谷大塚進学教室の「予習シリーズ」のカリキュラムに徹して指導しています。ただ、四谷の進学実績が伸びていない現状から、有名私立難関校に合格させるためには、「アルファ」「応用問題集」では足らず、実際の入試問題をアレンジした補助プリントが必要でしょう。

◎自塾にての作成教材並びに自作プリントを使用の塾…3塾

ベースを「力の5000題」レベルを基準として作成された塾

漢字、計算ドリルを持たせ、基本をみっちり教え込みたい塾

プリントは解ければ自信を持ってやりたくなるので、當時400枚ぐら

## いのプリントを用意しておく塾

実際に補助プリント、作成プリントが分科会に提出されたわけではありませんので、そのレベル・使用方法について突っ込んだ話はできませんでした。心残りです。

3,3つ目のテーマは「生徒募集」についてです。

◎定期的にチラシ、DMを撒く塾、口コミだけで成り立っている塾など、やはり、いろいろありました。全体の方向性としては、チラシで認知してもらい、DMでターゲットを絞って攻める点では、必要不可欠のものではあるが、まずは塾生への指導を疎かにせず、その評判で生徒は集まるものだという点で全員一致しました。

では、どのような内容のチラシ、DMにすれば良いかなどの細部には入れませんでした。残念です。

◎最後に理事長より、遊び中心だった子が、塾に来ることでだんだん変わって、一生懸命勉強する子になったのを見て、本当に教えることの面白さを知ったこと、また、家庭の協力は大切だが、子供でも、親でも面談の時には相手の話を聞いてあげ、そこからどう対処するかを考えるという、塾の人間としての基本マナーの大切さを伺いました。

### (分科会の司会としての感想)

時間の関係もあり、尻切れトントボのような終わり方であった。もう少しテーマを絞り、きめ細かく話し合いをしたいなあと思いました。また、どの分科会についてもいえると思いますが、塾の規模、システム、対象者などが同じ人で分科会を構成できればもっと話がスムーズに行けるのではないかでしょうか。

この研修会をきっかけとして、研鑽の場が広がっていけば、この会は成功と言えるのではないでしょうか。

## 全国研修大会を終えて

私塾ネット研修部長 鈴木正之

目標であった「私塾ネット会員の意思統一と団結」については、よい方向に向いたと考えます。若い塾長先生や職員の先生方が準備段階から活躍した。実行委員会への参加、分科会案作成、2次会の設定等。当日の役割を責任を持って遂行した。特に渡辺先生と大住先生の指示のもと実行委員が動いてくれた。そして会計の長江先生、竹内先生。名前を挙げるときりがないくらい、多くの先生が見えないところで働き、その力が会を支えてくれた。分科会時には、平林治先生が受付をしていただいたり…。我々は1階で案内の紙を持って誘導していた実行委員の方を忘れてはいけない。そういう仕事があって1つの会が成立したということを大切に考えたい。

分科会の内容と方法に関しては、課題が残り、今回の経験を次に活かしたいと思います。私がもう一步踏み込んだ形(内容とやり方)を考えられればという反省はあります。会はなんとか進められたと思っております。分科会の反省点を挙げるならば①レジュメ通り進めることが難しかった。もちろん、レジュメ通りやる必要は無かったのですが、リーダーが進行しやすい様に厳選してよかったです。②リーダーとオブザーバーとの打ち合わせが不足。前年度も打ち合わせ不足であることを反省し、実行委員会で打ち合わせをしようと考えていたが、実行委員会の段階でリーダーが確定できていなかった。次は実行委員会に参加した実行委員だけでやるとか、参加していない実行委員の方へは連絡を徹底したい。③分科会の時間が短かったとの意見を聞いたので、時間を長くするようにしたい。

全体を通しては以下の通りです。

①役員以外の若手会員を中心とした実行委員会を組織し活動できた。これにより、今後の私塾ネット会員の人材育成及び、私塾ネットへ新たな考えが注入されることを期待する。

②会員の交流を促進するため、懇親会の座席を指定した。今後も継続する。

③全体の流れを重視し、第一部と第二部を合わせて研修大会と考えた。そして、会の実

行にあたり責任の明確化で明確な役割分担をした。このことに関しては、実行委員みなさんの理解と協力によりうまく実行できたと考えております。

④1塾の複数参加の場合の会費の軽減により、1つの塾から多くの参加者があった。ただ、会費の額が各塾によってまちまちで、受付が大変であったと思う。今後は、会費の設定の見直しと受付の簡素化を図るとともに、多くの塾が参加する研修会を考えていきたい。又、会員、賛助会員の会費の割引も行ったが、関東以外の会員の会費割引を大きくすることも今後の検討事項である。

⑤非会員塾へ案内を出すことで、会員増加をねらえたかもしれない。

最後になりましたが、多くの人たちが支えた研修大会であったことを嬉しく思つておるとともに、実行委員のみなさんや参加されたみなさんに感謝したい。本当にありがとうございました。そして、今後の塾業界、教育界のためにみなさんと力を合わせていきたいと考えております。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

以上  
（主催）



（主催）  
（主催）

（主催）

東京都荒川区では今年「学習到達度調査」を実施、その結果を公表した。小学校24校6534人、中学校10校2454人が受験した。中学校トップ3教科平均は約59点。最下位のそれは45点である。小学校トップの平均は約78点。最下位は約65点である。公立校といえど安穏としてはいられない。やっと競争が始まる？

この公表に対して、点数だけで学校の良し悪しを判断されるから好ましくないとか、個人のプライバシーの侵害であるとかといった意見が相変わらず出てきている。しかし、できるものは出来と言つて褒め、努力の足りないところには更なる精進を促す。教師、子どもともどもに対してである。我々塾は子どもや親の支持がなければ存在しない厳しい中にいるのである。公立校の教師といえども当然のことである。

私も何回か公立校の授業参観をさせてもらったが、ひどいものである。わかりきつた話をくどくどとしていて、しかも私語も注意しようとしている。生徒と教師はお友達？と勘違いしそうな雰囲気。そこには必ず死に学ぼうとする子どもの意欲も感じられない。影では子どもたちから呼び捨てにされている。「○○の説明って、全然わかんないよね」とか、「△△って、くさいよね」とかですって。「そういう言い方は良くない。教わっている先生でしょ。○○先生と言わないと」と注意は当然していますが。

ある公立中学校の国語読解問題で、本文の引用のない問題もありましたね。答えを全部暗記しろと？もちろん抗議して、次回からは本文がきちんと記述されていましたが。40代の教師でしたが、今まで一度も指摘されたことはありませんとおっしゃっていました。驚きました。定期試験問題を検討している親はほとんどいないでしょうし、まして直接抗議までしてくる母親は皆無なんでしょうね。しかし、驚きました。皆さんのお近くの公立校はどうですか？情報ををお願いします。



## 私塾ネット関東総会

【日 時】平成15年4月27日  
午前10時30分～11時30分

【会 場】王子「北トピア」

仲野十和田事務局長の司会でほぼ定刻開始。谷村志厚私塾ネット関東代表挨拶、山口恭弘私塾ネットセンター理事長の挨拶で開始。

議長は谷村志厚先生。まず、仲野事務局長より、「4月27日現在の会員数72塾、24名出席、21名委任状提出で計45名の出席。過半数を超えておりますので、本日の関東総会は成立了いたしますことを、ご報告いたします。」との報告。

### 【議 題】

第1号議案	平成14年度事業報告 (事務局仲野先生)
第2号議案	平成14年度決算報告 (会計竹内先生)
第3号議案	平成15年度事業計画 (事務局仲野先生)
第4号議案	平成15年度予算案 (会計竹内先生)

最後に私塾ネット関東副代表の加藤先生の閉会の挨拶で無事終了。

「私塾ネット」も結成3年目に入り、当然「関東」も3年目に入るわけであるが、まだまだ改革の余地はあると思う。いつもの顔ぶれ+αを目指したい。そのためにはどうするか?様々な工夫とアプローチが必要となろう。最後は人と人の関係なのであるから、信頼関係を親密にしていく必要がある。一人が一人を誘って会議や研修に参加する。そのような努力が必要である。

平成15年5月20日

私塾ネットセンター広報 加藤 実



## 私塾ネット代表者会議



平成15年(2003)4月27日(日)、午後12時30分より東京都北区王子「北トピア」において私塾ネット代表者会議が開催された。正面左より右へ仲野事務局長(司会)、田中副理事長(議長)、山口理事長、谷村副理事長(関東代表)。

【日 時】平成15年4月27日

午後12時30分～午後1時20分

【会 場】王子「北トピア」

仲野十和田事務局長の司会で、山口恭弘私塾ネットセンター理事長の挨拶の後、山口理事長、田中敏勝先生を議長に指名。まず、仲野事務局長より、38名中、出席18名、委任状3名、合計21名で過半数を超えておりますので、本日の代表者会議が成立する旨の報告があつた。

### 【議 案】

第1号議案	平成14年度センター事業報告 (仲野先生)
第2号議案	平成14年度センター決算報告 (センター会計長江先生)
第3号議案	規約改正の件 (組織委員会座長立脇先生)

各地域の活性化をしようということがまず第1の狙い。次に代表者会議が機能しているのかどうか。もっと機能するようにしたい。それが第2の狙いなわけです。石川先生によって規約の叩き台が作られました。組織委員会役員会の討議を経て、今回の改定案となりました。

第4号議案	平成15年度センター事業計画
第5号議案	平成15年度センター予算案
第6号議案	その他の議案

ほぼ予定通り午後1時20分には無事終了し

た。

「代表者会議」を「総会」と勘違いしたり、「代表者会議」の他に「総会」があると思われたり、そういう誤解がしばしば見受けられる。「総会」は全会員が年に一回顔を合わせ、一年間の総決算をする場であるが、今の時代に全国から集まつてくるというのは大変だということから、各エリア代表だけが集まるこにしようと。それが現在の「代表者会議」誕生の理由だったのである。「私塾ネット」の最高の意志決定機関が「代表者会議」なのである。

現在の規約では、「学習塾を経営し、本会の目的に賛同する者」しか「正会員」になれないが、(第3章第6条(1)正会員の項)これを改めようということになった。案では「学習塾を経営している者、及び私塾教育活動に功績があった者で本会の目的に賛同する者」となっている。これから議論して、細部を詰めていくことになる。

紛糾することなく、平穏無事に終了することができたのは幸いであった。

平成15年5月21日

私塾ネットセンター広報 加藤 実



## 戦国武将・新井達朗先生ご逝去

厚生部長 佐藤 勇治

私塾ネット名誉会員の故・新井達朗先生が平成15年(2003年)4月17日永眠されました。享年76歳。

4月19日(土)午後6時より群馬県高崎市寺尾町の「ラサ中山」にて通夜が執り行われ、翌、4月20日(日)午後一時より葬儀・告別式が盛大に挙行されました。

私塾ネットからは、山口恭弘理事長、村社啓介先生、佐藤厚生部長の三名が出席し、新井達朗先生のご冥福をお祈り致しました。

当日、私は東京駅より新幹線に乗り、正午少し過ぎ高崎駅に着きました。

雨の中、私はタクシーで「日典・ラサ・中山」に向かいました。途中運転手さんに「東京農業大学第二高等学校はどの辺にあるのですか。」と尋ねますと、「右手の丘の上に見える建物がそうですよ。」と教えて下さいました。以前、新井先生より「昼は、毎日3時間、農大二高の講師、夜は塾長の二足の草鞋ですよ。」と伺ったことを思い出したからです。

新井先生は、故・浅沼敏夫先生とほぼ同年輩であり、共に旧制高校のご出身で、「新井先生は県下に鳴り響くほどの秀才であった。」と浅沼先生から聞かされたことがあります。

式場入り口に小さなテーブルが置かれ、そこに遺品が飾られていましたが、その中に、群馬県知事からの賞状があり、「學業優秀」と書かれてありました。

式場には30分ほど前に着き、早速奥様にお悔やみを申し上げました。棺(ひつぎ)の中のお顔は少しもおやつれになっておらず、安らかにお休みになっておられるようでした。

祭壇の下の方には「全国私塾連盟 有志一同」

と書かれた左右一対の小鉢盛りの供花が飾られておりました。これは奥様の特別なるご配慮によるもので、葬儀が終わったら、お宅に持ち帰られ、49日まで、仏間に置いて下さるのだとお話し下さいました。

全国私塾連盟の仲間として、30年以上に亘りご教導頂いた新井先生のお傍にいま暫らくいられるような錯覚を覚え、奥様のご配慮に感謝いたしました。

また、当日、多数の弔電が読み上げられましたが、その中に、中曾根元首相や福田元首相のお名前もあり、新井先生の幅広い生前のご活躍が偲ばれました。

昔の事になりますが、村社先生が全塾連の研修部長時代、新井先生を講師として、数学の勉強会を開いたり、高崎市内の教室で研修会をやった後、みんなで「分塾めぐり」をさせて頂いたことなどが思い出されます。

また、奥様が交通事故でムチ打ち症になられたことがあります。私は家族旅行の帰り、丁度高崎を通ることになり、急遽一人でお見舞かたがた、お宅にお邪魔して、親しく歓談させて頂いたこともあります。

平成2年12月、全国私塾連盟は、創立30周年記念誌『あゆみ』を発行しました。その記念誌に、先生は「我が人生、戦国武将の如し」という玉稿をお寄せ下さいました。

時代も移り変り、全塾連も私塾ネットとなり、新井先生をご存知の方も少なくなつて参りましたので、加藤広報部長に先生の玉稿を広報誌上に載せて下さるようお願い致しました。

あれやこれ、先生にお教え頂いた30数年の日々を顧みますと想い出は尽きませんが、今は只、先生のご薰陶を胸に刻み、これから的人生の糧とし、先生のご冥福をお祈りして参ります。

満身創痍の凱旋將軍・新井達朗先生、今こそゆっくりお休みください



平成15年4月20日（日）午後2時より群馬県高崎市寺尾町「日典ラサ中山」において故新井達朗氏の葬儀・告別式が執り行われました。祭壇中央下に全国私塾連盟有志一同からの小さな献花（左右一対のもの）が供えされました。

### 弔辭

本日ここに故新井達朗先生の葬儀並びに告別式がしめやかに執り行われるにあたり、在りし日の先生の面影を偲びつつ、謹んで弔辭を捧げます。

先生、永い間お世話になり、ご指導いただきました橋爪和夫です。去る十七日、咲き誇っていた桜もようやく散り始め、十三日夜の興奮が未だ覚めやらない時でした。突然の先生の訃報に接し、誰もが愕然とし、人の世のはかなさを嘆かずにはいられない深い悲しみに包まれてしまいました。

先生のやさしいご尊顔が目に浮かび、楽しかったこと、つらかったこと、ご一緒させていただいた、過ぎし日の思い出が走馬灯のように脳裏をかけめぐるばかりでした。

先生が病床に伏してから、必死の看護を尽くされた奥様をはじめ、ご家族の皆様のご心痛、いかばかりかお察しいたすとき、何とお慰みいたしてよいやら言葉もなく、唯々残念無念と申し上げるほかありません。

昨年暮れも押し迫った十二月十四日、私は長兄良恒に先立たれ、以来私の周囲では先生の存在はかけがえのない大きなものでした。兄良恒がことあるごとに私に言っていた言葉は旧制高崎中学には多くの秀才が集まるが、その中でも一番すごいのが新井達朗先輩だと口ぐせのように言っていたのが今思い出されます。

当然のことながら、先生は全国の中学生の憧れであり、天下の秀才があい競う旧制第一高等学校理科乙類に合格、そのまま平時であれば東京帝国大学に進み、日本を代表するよ



私塾ネット名誉会員、故新井達朗先生は、平成15年(2003)4月17日永眠されました。式場入り口には遺影のほか賞状、愛用の硯箱、献花、全国私塾連盟30周年記念誌「あゆみ」が置かれています。開かれているページには新井達朗氏の「我が人生 戦国武将の如し」の玉稿が載っています。

うな大科学者か超一流の医師として名を馳せたことだと思います。残念ながら、当時の戦時下ではそれが許されず、頭脳召集の下に多くの学徒があたら若い生命を散らしてしまいました。

先生は海軍より召集を受け、その先では日夜をたがわす極秘の研究に携わったことです。親にも兄弟にも言えない国家の最高機密とはレーザー光線、またの名を殺人光線の研究であったことが戦後明らかになり、朝から晩までウサギとモルモット相手に悪戦苦闘を続けたことが、その後の先生の病気の原因となったものと思われます。

戦後再び、第一高等学校に復帰し、さあ、これから学業に専念という矢先、海軍時代の無理がたたり、病に冒され、目前にした東京帝国大学の進学をあきらめざるを余儀なくされました。そんな時、高崎高校の校長先生からの懇請を受け、母校の物理、数学を担当する教師として奉職し、その独特的の授業方法は、多くの学生たちを魅了し、先生の存在はあまりに有名がありました。

そんな中、戦後間もない頃知り合った厚生省に勤務されていた荒井ツルさんと療養所で再会し、縁あって結ばれました。二人のお子様にも恵まれ、その合間に近所の子どもさんたちの勉強をみてやっている中、いつの間にかその周囲にはたくさんの子どもたちが集まっていました。

そして、スタートされたのが、群馬学園新井学習塾であり、県内七箇所にて開塾し、先生独自のテキストを用い、教科書を使わない授業で、当時大変な人気があったと記憶しております。

その後東京農大三高で教壇に立ったり、また、町内にあっては下和田町三丁目区長として、約三十年間に亘り、地域社会の発展のため先生の尽くされたご功績は枚挙にいとまなく、特に城南大橋開通に伴い、旧鎌倉街道復活を祈念して始めた武者行列は、今や往時を偲ぶ一大イベントとして、高崎市における代表的な行事として定着して参りました。これらも一体となって造り上げたものであり、先生のたゆまざる努力と見事な統率力によるものであり、その名も後世にまで必ず光り輝いてゆくものと思います。

最後になりましたが、私にたまわりましたご指導、ご支援、本当にありがとうございました。ご一家をあげての暖かいご厚意は生涯忘れられないものとして、胸に秘め、先生のご指導どおり、これからは地域社会の発展のため、尽くして参ります。どうぞ今後は天にあって、私たちをいさめ、ご家族の皆様の将来をしっかりと見守ってください。

言うまでも戸惑っていましたが、言わせていただきます。先生がお亡くなりになる数日前ペンを走らせ、最後のその文字は橋爪という文字であったと聞き、一家で先生に手を合わせ、感激に咽びました。

いつまでも名残は尽きませんが、もうお別れいたします。先生、どうぞ、ご浄土にて安らかにお眠りください。心よりご冥福をお祈り申し上げ、弔辞といたします。

平成15年4月20日  
群馬県県会議員 橋爪和夫  
合掌



## 編集後記

4月25日（金）朝、左耳下のリンパの痛みから始まり、左目がやたらと涙目になったり、食事がしにくかったりと、異常が次々と現れ、大慌て。白血病か、脳梗塞か、脳腫瘍かと夫婦で大騒ぎ。4月28日（月）内科受診。「抗生素を飲んで様子を見ましょう」と悠長なことをおっしゃる。で、すぐに近くの総合病院へ。私の顔を一目見るなり、「診断付きました。顔面神経麻痺です。治りますが完治はしません。多少後遺症が残ります。念のためCT撮りましょう」と。それから一週間プレドニン、ロキソニン等の服用開始。涙目は左まぶたが全く閉じないためになり、食事のときは左唇が閉じないために、食べ物がこぼれる。食事困難だったわけで、食事の時間が憂鬱でした。

そんなわけで、広報5号の発行が大幅に遅れてしまいました。今回も厚木ゼミナールの西畠先生、加藤先生のお世話になりました。

NPO立の学校、株式会社立の学校、コミュニティースクールなどと、規制緩和ということで、様々な学校が登場している。しかし、本当に「個性」とか、「多様化」とかで片付けてしまつていいのであるか？

小学生で学ぶべき学習というものをしっかりと見定めた上で、その学習到達度に達していない児童の対処をきちんとしてあげるべきなのである。中学校ももちろん同じである。小学校程度の学力がないために苦労している生徒が多数存在しているのである。

高校は義務教育ではないから、強い学習意欲と、高校の授業についていけるだけの基礎学力のある生徒だけを選抜すべきである。まして大学は「選ばれた学徒」でなければならない。高卒の価値を、大卒の価値を貶めたものは誰か？

子どもを甘やかせてはいけない。すべきことはしなさいと教え、善惡の基準をしっかりと教え、責任をしっかりとさせることである。勉強しなければ進学できませんよと。悪いことをすれば年齢性別に関わらず罰せられますよと、しっかり教えなければ

ならない。

それを何もしていないのだから、当然悪さをする若者が増えてこよう。どうするのだ。

18歳人口は平成3年の205万人をピークに減少を続け、平成15年には147万人になった。28%減である。定員割れの大学が3割も上ったと。平成21年には120万人にまで落ち込むという。平成3年のなんと41%減である。大学の半数近くが定員割れになるのではないか。そうなるとただ大学を卒業したというだけでは評価されない。高いレベルの大学を卒業し、かつ高い能力をもたなければならなくなる。サンデー毎日2003.

7.6号に「2004年入試動向完全予測 主要50大学志願者・倍率・難易度を詳細分析」と題する記事が載っていた。東大と京都が70、慶應・早稲田・上智が69、一橋と同志社が68、中央と大阪が67、立教66、東北と立命館が65、関西学院・名古屋・九州が64、明治と学習院が63、関西62、北海道・法政・成蹊が61、青山・明治学院・南山が60。（学部は法学部。5月模試の結果による合格確実ライン。駿台予備校の数値）日大と西南学院が59で続く。68以上の層、64以上の層、60以上の層の3ランクに分かれているのであろうか。東大と京大は別格として、俗に早慶上智とかMARCH（明治・青山・立教・中央・法政）とか言われ、東京の進学校の目標になっている。いわゆる一流といわれている大学を卒業できたからといって、将来が約束されいるわけではないが、頑張ったことは確かであろう。幸福になれる確率は高いと思われるが。学歴社会は崩壊したと言われて久しいが、本当にそうなのか。ならば世の中は馬鹿だということになる。「目指せ東大、早慶上智」と頑張っているわけだから。勉強しないで、遊んで暮らしていれば、幸せになれるのか。やはりしっかり勉強しなければいけないのではないか。それが塾の務めであると思う。

平成15年7月5日午前1時30分  
私塾ネット広報 加藤 実